

すいとぴあ江南の今後についての座談会結果

◆ 実施の目的

市では、江南市公共施設再配置計画で定めたすいとぴあ江南の今後の方向性を令和8年度に決定することとしています。

方向性の決定において、北部地域が描くビジョンやその中ですいとぴあ江南が果たすべきミッションについて整理し、施設稼働状況など客観的な指標や公共施設更新問題を踏まえ、賑わいの拠点やシンボル等の必要な機能について、意見をお聞きし今後の方向性の検討に活用します。

◆ 開催日時及び参加者

日時	7月1日（火） 14：00～15：30
場所	中央コミュニティ・センター 1階 実習室
参加者	江南市老人クラブ連合会 (11名)

プログラム

- 1 はじめに（5分）
- 2 すいとぴあ江南の今後について（約10分）
- 3 座談会（約60分）
- 4 おわりに（5分）

座談会は、2つのグループに分かれて行いました。

◆ すいとぴあ江南の今後についての概要

すいとぴあ江南の今後について、すいとぴあ江南の維持費用や利用状況、今後の検討における市の考え方などを説明しました。

【今後の検討における市の考え方】

○すいとぴあ江南の位置づけ

財源不足により全ての公共施設を現在と同規模で維持・更新することができない状況のため、行政関与の必要性が高い小中学校・保育園などを優先し、行政関与の必要性が低いすいとぴあ江南は維持・更新が難しい施設。

○すいとぴあ江南の将来像

近隣施設や遊歩道・サイクリングロードと連携し、木曽川の自然を楽しむ水と緑のネットワークを形成し、多くの人に親しまれる場所にしたい。



◆ 座談会

テーマ 「北部地域の将来の姿」

- 【キーワード】
- ・すいとぴあ江南の将来
 - ・多くの人に親しまれる場所
 - ・シンボル、賑わいの拠点

座談会のテーマ、キーワードを念頭においていただきながら、面積3haある「すいとぴあ江南」が今後どのような場所になるといいか、担う役割や機能についてご意見を伺いました。

○座談会の様子



○にぎわいの創出について

- ・バーベキュー場、キャンプ場など市民の憩いの場、みんなが集まって楽しい場所になるといい。
- ・屋根付きの子どもが遊べる場所など若い人が利用する場所として収入を増やす。
- ・お年寄り向けにグランドゴルフができる場所にし、全国大会を開催すれば宿泊の利用も見込める。
- ・土日には子ども向けのもの、平日はお年寄り向けのものがあると集客が見込める。

○シンボルについて

- ・展望台はいらない。　・どこから見てもわかる展望台はシンボルとしていい。

○宿泊施設について

- ・他の宿泊施設がないので、宿泊施設として何かあるといい。　・宿泊はいらない。
- ・お盆や年末年始の帰省で利用されている印象。　・グランピングで集客が増える可能性がある。

○レストランについて

- ・メニューがお年寄り向き。　・利用対象によっては豪華なご飯はなくていい。
- ・若い人、ファミリー層を呼び込む必要があるが、メニューを変えただけでは来るようになるとは思えない。

○その他

- ・交通が不便。公共交通で気軽に行けるようにしてほしい。　・駅伝での使用を継続してほしい。
- ・いいロケーションを活用した、特色を持ったお金のかからない場所とする。
- ・フラワーパークとの連携。　・子どもの遊具が少ない。
- ・多目的ホールは、民生委員や老人会の総会で使用したことがある。
- ・展望台は一宮に負けている。展望台、宿泊、食事、風呂など全て中途半端。

○意見（抜粋）

◆ まとめ

市北部にあるすいとぴあ江南は、交通アクセスが悪く気軽に行けないと課題がある一方で、水と緑のロケーションや近隣のフラワーパークとの連携が可能といった魅力があり、今後についてはそのポテンシャルを活かしながら、子ども向けやお年寄り向けなどターゲットを明確にすることで賑わいの創出を実現する意見が多く、すいとぴあ江南の将来を考える上で、とても参考になる意見ばかりでした。

今後の検討におきましても、すいとぴあ江南を含む北部地域全体の将来像を「多くの人に親しまれる場所」「江南市のシンボル」「賑わいの拠点」といったキーワードを念頭に置きつつ、財政面や地域のニーズなども総合的に勘案し、持続可能な形で地域の魅力を高められるよう、市民の皆さんのお意見をうかがいながら検討を進めていきたいと考えています。